

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は近隣の市町村からの葬儀依頼が多かった。また、僧侶を呼ばずに、お別れの会だけで終わるというパターンが増えており、僧侶がいないことにそれほど違和感を覚えない人が増えてきている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・今年も新入生向けの制服等の販売が始まったが、注文数は今までと変わらない。やはり、必要な物はきちんと購入しているようだ。ただし、特別景気が良いという感じは受けない。当店の商売としては一安心である。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣で大型工事が始まり、来客数が増えてきている。今年は積雪も少なく、外出する人が増えており、いつもなら土日の売上は見込めないが、最近伸びている。
	○	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今月は、前年同月を超えた店舗が全体の7割ほどである。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・当店は注文服専門店、オーダーはないものの、修理依頼が多少ある。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前と比較すると、まだ動きは弱いものの、地元客の日帰り団体利用が回復している。また、最近では仕入価格や人件費の高騰等による価格転嫁への理解が進んできて、なかなか価格を改定できなかった常連客でも、価格の見直しをお願いできるようになっている。来客数はいまだに少ないが、客単価を上げられたため、売上のにはかなり新型コロナウイルス感染症発生前に近づいてきている。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・今月は前年比110%だが、新型コロナウイルス感染症発生前の令和2年1月と比べると、まだ90%である。回復は、まだもう少し先になるとみている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・外国人スキー客が大半ではあるものの、新型コロナウイルス感染症発生前に近い入込客数に戻っている。宿泊もおおむね好調である。
	○	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・年明けからファミリー層の集客が良く、前年を上回っている。今まで夜間の集客が難しかったが、少しずつ戻っている。団体利用は前年よりは良いものの、いまだに戻っていない。
	○	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・別荘に関する問合せが増えている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・暮れも正月も街に全く人出はない。昔の歳末大売出しのにぎやかさが懐かしい。時代も変化し、商店街がついていけないのかと思っている。
	□	百貨店（営業担当）	単価の動き	・いろいろな物の値上げにより商材単価が上がっているため、買上点数が減っているというイメージである。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数は堅調である。能登半島地震の影響は限定的で、買上点数は減少しているものの、来店頻度は微増となっている。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は24%増加、来客数は29%減少している。近隣にコンビニが出店して丸1年、来客数は大きく減少しているが、今月で減少も終わる予定である。外販が好調なため、売上は増えている。前年1月15日からの1か月間は仕事がぱったりと止まって、非常に先行きが不安だった。2月中旬以降はどんどん仕事が増えて、そこから11月までずっと忙しかった。今週、来週と県内最大の文化施設から、100食以上の弁当注文が3回あり、そのほかに新規注文も増えてきている。
	□	スーパー（店長）	単価の動き	・客は値段と量を見て、購入している。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・当地は特に寒い地域だが、この4～5年は天候の変化なのか、降雪が少ない。雪が降ると客が減ってしまうので、非常に有り難い。	

□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数は増え客単価も上がっているが、購買は若干抑えてきており、買上点数はかなり減っている。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・年々、来客数が減少している。取扱商材等を増やしているものの、客の減少が続いている。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車供給制約が緩和され、販売台数が増加している一方で、車両価格の上昇を受け、足元の新車受注は減少傾向にある。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は若干だが目標を上回っている。車両販売に関しては、物価の上昇に加え大手自動車メーカーの不正問題もあり、厳しい状況にある。
□	その他専門店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・元日の能登半島地震の影響を受け、今年は年初から景気は厳しいのではないかと考えていたが、今月末時点で、前年を超える売上となっている。ただし、内容をみると、景気が良いかどうかは何ともいえない。単価の上昇に伴って、売上が伸びているともいえる。当県観光地のホテル等と取引をしていると、インバウンドは高価な日本酒を飲んでいるという状況は変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・悪天候の影響かと思うが、来客数が極端に少ない。
□	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、選択肢の全てが該当する気がする。正月早々、大変な出来事が多すぎて、影響か分からないが、地方は本当に大変である。何か良い方法はないのだろうか。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・円安に加え、物価高、燃料価格高騰が収まらず、旅行も差し控え傾向である。また、受注も思うようには伸びず、停滞している。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・学生を中心に、徐々に入退居に伴う通信サービスの入替えが始まる時期ではあるものの、能登半島地震の影響もあってか、急な引越しや解約が例月より目立っている。
□	遊園地（職員）	来客数の動き	・オリンピック選手のスケート教室や多様なイベントでにぎわいを見せたものの、今月は降雪等もあったため、来客数は余り伸びていない。
□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・冬季の営業休止により、判断が難しい。
□	ゴルフ場（副支配人）	お客様の様子	・以前送付した優待券効果による来場はあるが、大きな変化はない。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・元日から能登半島地震での災害、羽田空港での航空機事故、年末からの与党の政治資金関連の不祥事と、景気は気からというおとり、消費マインドが一気に冷えてしまったようである。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商店街を含めてだが、店内の人の動きが少ない。買い控えなのか欲しい物がないのか、客の購入意欲がみられず、売上増加の戦略も苦戦している。
▲	百貨店（経理担当）	それ以外	・能登半島地震に伴い、当県も被災の影響を受けている。1月2日の初売りは店内の安全点検を実施し、9時開店を12時開店に変更して店を開けたが、来客数や売上の減少のインパクトは大きかった。
▲	百貨店（店長）	来客数の動き	・正月の能登半島地震の影響だと思うが、主要顧客である高齢者層の来店が極端に少なくなっている。
▲	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・降雪量が少なく、タイヤ販売は落ち込んでおり、来客数も大幅に減っている。
▲	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・1月も終わりに近づき、新年会等も落ち着きを見せ始めている。また、予約以外の客足は遠のいている。
▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・順調に回復していたが、1月に入って急に悪くなっている。自粛ムードにはなっていないと思うが、能登半島地震の影響や新型コロナウイルス感染症の再流行等、いろいろあるため、慎重に様子をみていきたい。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・正月は新年会需要もあり、新型コロナウイルス感染症発生前以上の予約が入っていたが、元日の能登半島地震の発生で、幸いにも大きな被害はなかったものの、発生日夜の営業中止、予約キャンセル、利用人数の減少、予約進捗の鈍さと、少しずつ継続的に悪い方へ進んでいる。

	▲	通信会社（社員）	販売量の動き	・繁忙期に向かってはいるが、電気通信事業法の改正により、前年比で販売量が落ちている。
	▲	設計事務所（職員）	来客数の動き	・日々の仕事に余裕が出てしまっている。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・1月1日の能登半島地震の影響が、かなり出ている。4日時点で、客室キャンセルを1000室受けている。1万円で販売したとしても、約1000万円の損害である。また、新年会の予約も、1月分だけで8件のキャンセルが出ている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	*	*	*
	○	*	*	*
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭販売商材の販売、受注は共に低下している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は受注量が増えた商材が多かったが、減った物もあり、また、部品の入荷遅延により製造が止まることもあるため、先行きは余り良くない印象を受けている。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量は横ばいで、特に増える要素がない。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節によるところもあるが、受注量が余り増えていない。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では外需の弱い動きが続いており、半導体関連需要の在庫調整の影響も長引いている。非製造業は、観光関連で需要の明るさが戻りつつあるが、人手不足の影響が続いている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・好況な業種も見受けられる一方、人件費等の高騰が重荷となっている企業も見受けられる。
	▲	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・依然として、資材関係の値上げの話がきているが、価格転嫁はできていない。
	▲	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・年末までの、国産ワインの新酒への引き合いの反動で、業務筋や酒販店からの受注が期待していたほどは伸びず、前年より落ち込んでいる。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は国際宝飾展が開催された。海外からの来場者は多くなっているが、国内の卸売業者や小売業者の来場は少ない。売上は前年並みだが、金の価格高騰に伴い在庫価格が上がっているため、実質的には販売数、利益共に、前年よりダウンしている。経費は前年より上昇しているため、今年に入ってから状況は良くない。
	×	*	*	*
	雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
○		*	*	*
□		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・取引先も今後の展望が見いだせず、閉業を検討している企業も目立つようになっている。
□		求人情報製作会社（総務担当）	求人数の動き	・周りも含め、景気の良さ等はない。
□		職業安定所（職員）	求人数の動き	・車載用半導体不足の緩和により、関連する製造業で求人が出てきているものの、依然として原材料不足や燃料の価格高騰等の影響、人手不足の状況は続いている。求人数の動きからは、景気が上向き要素はみられない。
□		職業安定所（職員）	求人数の動き	・僅かながら求人数は増加を続けているものの、原材料費や人件費の増加への対応を迫られることを考慮すると、好転若しくは、後退しているという判断には至らない。
□		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・全体として求人数は微減の状況で、変化はない。
▲		—	—	—
×	—	—	—	